

「参考資料」

連結および個別決算概要

1. 連結業績

(単位：百万円 %)

	20年9月期	21年3月期	21年9月期	前年同期比	22年3月期 予 想	前年比
売 上 高	232,848	446,659	224,672	△ 3.5	450,000	+ 0.7
営 業 利 益	7,286	15,213	16,798	+ 130.6	27,500	+ 80.8
経 常 利 益	6,630	13,015	15,694	+ 136.7	25,200	+ 93.6
四半期(当期) 純 利 益	3,079	7,831	8,666	+ 181.5	13,000	+ 66.0
1株当たり四半期 (当期)純利益	11円76銭	29円91銭	33円13銭	+21円37銭	49円24銭	+19円33銭
設 備 投 資 額	11,187	20,526	12,814	+ 14.5	33,300	+ 62.2
減 価 償 却 費	11,819	24,337	11,836	+ 0.1	25,500	+ 4.8

2. 個別業績

(単位：百万円 %)

	20年9月期	21年3月期	21年9月期	前年同期比	22年3月期 予 想	前年比
売 上 高	151,316	290,122	142,003	△ 6.2	277,000	△ 4.5
営 業 利 益	4,678	11,050	11,812	+ 152.5	18,500	+ 67.4
経 常 利 益	4,663	10,501	11,274	+ 141.8	17,500	+ 66.7
四半期(当期) 純 利 益	2,508	5,729	6,451	+ 157.2	9,500	+ 65.8
1株当たり四半期 (当期)純利益	9円58銭	21円88銭	24円66銭	+15円08銭	35円98銭	+14円10銭
設 備 投 資 額	6,752	11,553	8,477	+ 25.5	23,300	+ 101.7
減 価 償 却 費	7,704	15,941	7,294	△ 5.3	15,600	△ 2.1

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大坪 清

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 飯田 誠

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	224,672	△3.5	16,798	130.6	15,694	136.7	8,666	181.5
21年3月期第2四半期	232,848	—	7,286	—	6,630	—	3,079	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	33.13	—
21年3月期第2四半期	11.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	498,980	158,554	29.8	569.21
21年3月期	457,263	140,778	29.8	520.49

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 148,910百万円 21年3月期 136,174百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	0.7	27,500	80.8	25,200	93.6	13,000	66.0	49.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 日本マタイ株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	263,774,450株	21年3月期	263,774,450株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,164,021株	21年3月期	2,147,578株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	261,600,967株	21年3月期第2四半期	261,922,730株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月12日に公表いたしました業績予想を平成21年10月30日に修正しております。詳細につきましては、平成21年10月30日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 通期の1株当たり当期純利益については、平成21年12月1日付実施予定の株式交換に際して交付する予定の株式数を考慮して算定しています。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	277,000	△4.5	18,500	67.4	17,500	66.7	9,500	65.8	円 銭 35.98

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 通期の1株当たり当期純利益については、平成21年12月1日付実施予定の株式交換に際して交付する予定の株式数を考慮して算定しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年秋の世界経済の同時減速の影響を受け、輸出、企業業績、設備投資および個人消費は低迷するとともに、雇用情勢についても一段と悪化し、当期間後半において持ち直しの動きがみられたものの、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経済環境の中で、板紙業界、段ボール業界におきましては、昨年秋以降の需要の減少に加え、今夏の天候不順の影響もあり、生産量は前年を大きく下回りました。

紙器業界、軟包装業界におきましても、景気の低迷を反映し、生産量は前年割れとなりました。

以上のような状況の下で、当社グループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、海外のすべての事業分野において、より一層のコスト削減、生産性の向上に取り組む一方で、原燃料価格が低下したことから、本年4月より段ボール原紙および段ボール製品の基準価格の引き下げを実施いたしました。

また、本年5月には、グループの総合力強化を目指し、総合包装容器メーカーである日本マタイ株式会社を子会社化いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は224,672百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は16,798百万円（同130.6%増）、経常利益は15,694百万円（同136.7%増）、四半期純利益は8,666百万円（同181.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりです。

〔板紙・紙加工関連事業〕

板紙・紙加工関連事業につきましては、連結子会社の増加はありましたが、板紙および段ボール製品の販売量の落ち込みにより減収となりました。利益面では、適正価格の維持に努めるとともに、さらなるコスト削減を推進したことにより、増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は181,140百万円（同5.8%減）、営業利益は15,254百万円（同112.7%増）となりました。

〔軟包装関連事業〕

軟包装関連事業につきましては、当第2四半期から日本マタイ株式会社グループが加わったことにより、増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は34,167百万円（同25.7%増）、営業利益は1,303百万円（同81.0%増）となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業につきましては、不採算事業の整理により大幅な減収となりましたが、利益面では、その効果に加え、新聞用紙事業における原燃料価格の低下により、前年同期の営業損失から大きく改善しました。

その結果、当セグメントの売上高は9,365百万円（同30.4%減）、営業利益は179百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は498,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ41,717百万円増加しました。資産、負債および純資産の主な増減といたしましては、日本マタイ株式会社を子会社化したこと等に伴い受取手形及び売掛金、有形固定資産、長短の借入金等が大きく増加しております。

自己資本比率は前連結会計年度末と同じ29.8%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、政府の経済対策、対外経済環境の改善等により持ち直しが期待されるものの、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、景気の下押しリスクもあり、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中、当社グループは、強固な経営基盤を確立するため、再生産可能な価格体系の堅持、コスト競争力の強化、財務体質の改善に引き続き取り組むとともに、子会社化した日本マタイ株式会社グループとのシナジー効果を発揮することにより、「パッケージング・ソリューション・カンパニー」として、お客様の包装ニーズにより一層幅広くお応えしてまいります。

さらに、地球環境の保全に配慮した経営を行うことが企業の持続的発展に不可欠であるとの認識の下、太陽光発電システム導入等の省エネルギー対策、環境配慮型製品の開発等、環境負荷の低減に取り組むとともに、株主の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーの信頼に応えられる企業集団を目指して、CSR活動を積極的に推進し、企業価値の一段の向上を図り、良き企業市民として、引き続き社会に貢献してまいります。

以上をふまえ、平成22年3月期の連結業績および個別業績につきましては、下記のとおり予想しております。

[通期の連結業績予想]	売上高	4, 5 0 0 億円 (前年比 0.7%増)
	営業利益	2 7 5 億円 (前年比80.8%増)
	経常利益	2 5 2 億円 (前年比93.6%増)
	当期純利益	1 3 0 億円 (前年比66.0%増)

[通期の個別業績予想]	売上高	2, 7 7 0 億円 (前年比 4.5%減)
	営業利益	1 8 5 億円 (前年比 67.4%増)
	経常利益	1 7 5 億円 (前年比 66.7%増)
	当期純利益	9 5 億円 (前年比 65.8%増)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、平成21年5月27日付で、日本マタイ株式会社の第三者割当増資を引き受け、同社を当社の連結子会社(特定子会社)といたしました。なお、当該子会社のみなし取得日を第1四半期連結会計期間末としたため、当第2四半期連結会計期間より当該子会社の四半期損益計算書を連結しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,308	10,304
受取手形及び売掛金	124,065	112,703
有価証券	1,500	—
商品及び製品	12,214	12,571
仕掛品	1,483	1,682
原材料及び貯蔵品	11,055	10,914
繰延税金資産	3,960	4,058
その他	7,527	3,728
貸倒引当金	△2,291	△1,254
流動資産合計	173,824	154,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,053	53,518
機械装置及び運搬具(純額)	73,877	72,038
土地	100,135	94,611
建設仮勘定	5,453	3,019
その他(純額)	5,215	4,108
有形固定資産合計	245,734	227,296
無形固定資産		
のれん	2,465	2,406
その他	6,446	6,209
無形固定資産合計	8,912	8,615
投資その他の資産		
投資有価証券	58,884	51,304
長期貸付金	907	326
繰延税金資産	1,000	5,830
その他	11,965	10,693
貸倒引当金	△2,248	△1,513
投資その他の資産合計	70,509	66,641
固定資産合計	325,156	302,554
資産合計	498,980	457,263

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,412	62,622
短期借入金	95,406	90,107
1年内償還予定の社債	5,850	5,550
未払費用	17,060	15,561
未払法人税等	3,316	5,575
その他	19,206	19,188
流動負債合計	210,253	198,606
固定負債		
社債	21,350	20,675
長期借入金	84,228	75,593
繰延税金負債	4,902	3,166
退職給付引当金	11,476	12,710
役員退職慰労引当金	764	764
その他	7,451	4,968
固定負債合計	130,172	117,878
負債合計	340,426	316,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	29,869	27,442
利益剰余金	91,676	84,854
自己株式	△1,622	△1,613
株主資本合計	150,989	141,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△155	△3,579
為替換算調整勘定	△1,924	△1,995
評価・換算差額等合計	△2,079	△5,574
少数株主持分	9,644	4,603
純資産合計	158,554	140,778
負債純資産合計	498,980	457,263

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	232,848	224,672
売上原価	197,721	179,797
売上総利益	35,127	44,875
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	5,580	5,637
貸倒引当金繰入額	237	135
給料及び手当	8,221	8,543
退職給付費用	604	625
減価償却費	1,138	1,350
のれん償却額	306	301
その他	11,751	11,481
販売費及び一般管理費合計	27,840	28,076
営業利益	7,286	16,798
営業外収益		
受取利息	275	197
受取配当金	671	577
受取賃貸料	246	256
負ののれん償却額	96	133
持分法による投資利益	265	111
その他	953	846
営業外収益合計	2,509	2,121
営業外費用		
支払利息	1,362	1,430
その他	1,802	1,794
営業外費用合計	3,165	3,225
経常利益	6,630	15,694
特別利益		
補助金収入	—	112
貸倒引当金戻入額	—	110
固定資産売却益	78	—
その他	272	186
特別利益合計	350	409
特別損失		
固定資産除売却損	370	364
その他	545	934
特別損失合計	916	1,299
税金等調整前四半期純利益	6,064	14,804
法人税、住民税及び事業税	3,389	2,892
法人税等調整額	△196	2,887
法人税等合計	3,193	5,780
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△207	356
四半期純利益	3,079	8,666

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	板紙・紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	192,207	27,188	13,452	232,848	—	232,848
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	46	1	13,531	13,578	(13,578)	—
計	192,253	27,189	26,984	246,427	(13,578)	232,848
営業利益又は 営業損失(△)	7,171	720	△ 698	7,193	93	7,286

(注) 1 事業区分は製品の種類、性質に基づく市場、販売方法の区分によっております。

2 各事業の主な製品

- ・板紙・紙加工関連事業……………板紙、段ボール、段ボール箱
- ・軟包装関連事業……………軟包装製品、セロファン
- ・その他の事業……………紙器機械、枚葉印刷機、新聞用紙、化成品、不織布、運送、保険代理、リース、不動産、人材派遣

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	板紙・紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	181,140	34,167	9,365	224,672	—	224,672
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	239	244	9,326	9,809	(9,809)	—
計	181,379	34,411	18,691	234,482	(9,809)	224,672
営業利益	15,254	1,303	179	16,737	61	16,798

(注) 1 事業区分は製品の種類、性質に基づく市場、販売方法の区分によっております。

2 各事業の主な製品

- ・板紙・紙加工関連事業……………板紙、段ボール、段ボール箱
- ・軟包装関連事業……………軟包装製品、セロファン、容器
- ・その他の事業……………紙器機械、新聞用紙、化成品、不織布、運送、保険代理、リース、不動産

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高に占める「本国」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高に占める「本国」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報
該当事項はありません。